

令和4年度川崎駅周辺帰宅困難者対策図上訓練の実施結果について

1 訓練実施日

令和5年3月2日（木） 14時00分～16時00分

2 参加機関

(1) 駅

JR川崎駅、京急川崎駅

(2) 一時滞在施設

川崎アゼリア、川崎商工会議所、川崎市産業振興会館、川崎日航ホテル、ミューザ川崎
川崎市教育文化会館、川崎競輪場、カルッツかわさき、幸市民館、京急川崎駅前ビル
ホテルメッツ川崎、ラゾーナ川崎

(3) 訓練進行等

川崎市危機管理本部、川崎区役所、幸区役所

3 訓練内容

- (1) 川崎市における地震被害想定及び駅前行動ルール等の勉強会
- (2) 無線機を使用した情報受伝達訓練
- (3) 帰宅困難者支援施設運用ゲームを用いた図上訓練（開設・受入対応）
- (4) 図上訓練振返り・情報交換会

4 訓練想定

- ・ 令和5年3月2日（木）8時30分、川崎市直下の地震（M7.3、川崎区・幸区で最大震度6弱）が発生
- ・ 市内全域で大きな被害、川崎区・幸区合わせて、6,000人以上の死傷者が発生
- ・ 約2割の世帯で建物全壊か半壊、電気、ガス、水道等のライフラインは半数以上で停止
- ・ 鉄道、バス等の公共交通機関は終日運行停止を決定
- ・ 電話はほとんど通じず、携帯電話等による通常の通話は不能
- ・ インターネットは、通信制限がかかっているが使用可能
- ・ 川崎駅周辺は、ビル看板の落下、窓ガラスの破損等が多く発生、屋内は商品・什器の散乱が著しい

5 訓練の様子

訓練実施結果については、訓練実施後に駅及び一時滞在施設として訓練に参加した機関に対してアンケートを実施したことから、その回答内容をもって結果報告とさせていただきます。

(参考) 訓練時の様子

【写真①】川崎市における地震被害想定及び駅前行動ルール等の勉強会の様子



【写真②】無線訓練の様子



【写真④】図上訓練の様子



【写真⑥】図上訓練の様子



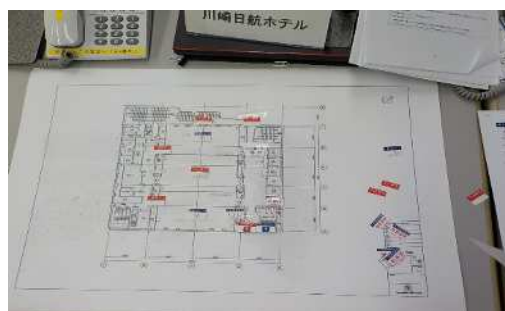
【写真③】無線訓練の様子



【写真⑤】完成後の受入図面



【写真⑥】完成後の受入図面



6 アンケート結果について

訓練参加者にアンケートを実施した。主な回答結果は下記の通り。

(一部回答文章の表現を整理しています。)

1. 本訓練では、例年実施しておりました実動訓練から図上方法にて訓練を実施しました。本訓練に参加して印象に残った訓練項目がございましたらお答えください。(複数回答可)
 - ☐ 川崎市における地震被害想定及び駅前行動ルール等の勉強会・・・5施設
 - ☐ 無線機を使用した情報受伝達訓練・・・6施設
 - ☐ 帰宅困難者支援施設運用ゲームを用いた図上訓練・・・8施設
 - ☐ 図上訓練振り返り・情報交換会・・・4施設
 - ☐ その他
2. 図上訓練のなかで、状況付与カードに対して各一時滞在施設、各駅の対応をご記入いただきました。訓練を受けて、発災時に対応に苦慮すると想定される事案や今後の課題と感じた点がございましたらお答えください。(複数回答可)
 - ☐ 事前に色々と検討していたのでスムーズに対応できた・・・3施設
 - ☐ 要配慮者の方などへの対応に課題を感じた・・・5施設
 - ☐ 想定していないことが多々あったので、今後検討していきたい・・・2施設
 - ☐ 帰宅困難者受入後の情報周知に関すること・・・4施設
 - ☐ その他

- ・施設の崩壊の恐れがある時の対応判断が難しいと感じた。
 - ・携帯等の充電や情報収集について課題を感じた。
3. 今回の図上訓練では、KUG（帰宅困難者支援施設運用ゲーム）を用いて、帰宅困難者受入レイアウトの作成や受入対応について状況付与カードご記入をいただきました。訓練の実施時間についてお答えください。
 - ☐ 短いと感じた・・・1施設
 - ☐ ちょうどよかった・・・12施設
 - ☐ 長いと感じた・・・1施設
 - ☐ その他
4. 今後の帰宅困難者対策の参考にさせていただくため、以下の事項についてお答えください。
 - (1) 今回の訓練と同規模の災害が発生した際、一時滞在施設では開設までに必要と想像される時間、各駅におかれましては、帰宅困難者対応に取り組むまでに必要とされる時間をお答えください。

☐ 発災から3時間程度・・・2施設	☐ 発災から6時間程度・・・11施設
☐ 発災から12時間程度・・・1施設	☐ 発災から1日程度
☐ その他	
 - (2) 発災時、一時滞在施設の開設に必要なと考えられる職員の人数を教えてください。
4～5人、6人、8人、10人、30人、

(3) 駅前の様子や滞留状況等の確認方法について、普段から使用されている確認方法等がありましたらお答えください。

例：事業所で管理している駅前防犯カメラなど

- ・地上部の I T V カメラ（防犯カメラ）等を活用して確認する。
- ・人による目視
- ・ネットによる運行情報
- ・防犯カメラ、館内巡回・お客様対応を行っているアテンダントスタッフからの無線発報
- ・防災センターの防犯カメラ

(4) 地震発生後、一斉に一時滞在施設を開設することは困難と想定されます。施設として開設不可な場合でも状況に応じて他の施設に対し、職員の派遣や物資の提供など御協力をいただきたいと考えますが、御意見をお聞かせください。

- ☐ 職員の派遣（物資搬送）・・・1施設
- ☐ 職員の提供（一時滞在施設の運営）・・・2施設
- ☐ 食料品・飲料水等の提供・・・8施設
- ☐ 携帯トイレ・その他物資の提供・・・4施設
- ☐ その他・・・1施設

・災害状況によってご提供できる内容が変わるため、施設としてご協力できる範囲で対応させていただきます。

・状況に応じ、保管している物資の運送等できる限り協力したいとは考えております。

(5) 令和4年度に地震を想定した訓練を実施されたかお答えください。*実働、図上訓練を含む。

- ☐ 実施した・・・4施設
- ☐ 実施していない・・・10施設

5. 昨年、各一時滞在施設で作成をいただきました、「帰宅一時滞在施設開設・運営マニュアル」について、今回の図上訓練を受けて、内容の見直し等を今後行う予定があるかお答えください。

- ☐ 見直す予定・・・1施設
- ☐ 見直す予定はない・・・1施設
- ☐ 未定・・・10施設

6. 今後の川崎駅周辺帰宅困難者対策において実施・検討したいこと、訓練の開催内容・方法などについてご希望がございましたら御記載願います。（自由記載）

- ・非常に充実した内容と思われます。勉強になりました。
- ・実際の周りの状況を見ながらシミュレーションが出来たため、大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・災害時の対応について、全体の流れや他施設の対応を確認でき参考になった。

以上